

町の考えを問う

6議員が一般質問に立つ

全質問事項

田中紀吉

- 1. デジタル社会の実現における、ときがわ町の対策・対応は

野原和夫

- 1. 高齢者見守りシールを
- 2. 社会保障の拡充を

山中博子

- 1. 森林環境譲与税について

長島金作

- 1. 明覚駅に歩道橋を作り明覚駅周辺を活性化させてはどうか

神山俊

- 1. 来年度予算案について
 - 予算編成方針は-
- 2. 防災井戸の整備を
 - 飲料水、生活水の確保を-

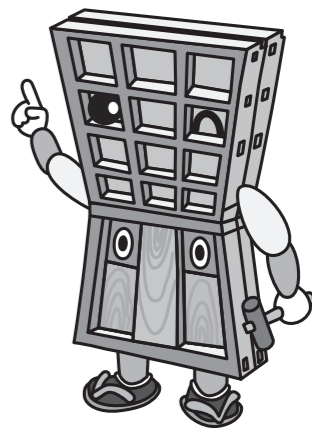
小島利枝

- 1. 町民の「心の健康」を守る町の取り組みは
- 2. 子宮頸がんワクチンの情報提供について

一般質問とは

一般質問は、議員が町の行政全般にわたって、執行部に対し疑問点をただしたり、政策の変更、是正、あるいは新規施策の提案などを行うことです。

ときがわ町議会では、質問は一問一答方式であり、通常「一議員あたり質問、答弁を含めて持ち時間は60分以内」としていますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、12月定例会においても「30分以内」と制限を設けて実施しました。また、執行部側には質問議員に対して質問ができる反問権が認められています。



デジタル社会実現における、ときがわ町の対策・対応は

町長 デジタル担当人材を確保したい

田中紀吉



問 デジタル担当人材の確保及び内部からの育成（養成）の予定は。

答 政府は行政サービスの推進のため「デジタル庁」を創設する方針であり、町でもこうした動向に合わせて、ICTシステムに精通

した人材の新規採用、職員の研修・セミナーへの参加等人材の確保を考えている。

問 行政への申請等における押印の原則廃止に向けた取り組みは。

答 平成29年に「ときがわ町申請等の押印の省略に関

する規定」を制定している。法律等の改正も見込まれるので、引き続き省略に務める。

問 小・中学校のオンライン教育の具体的計画は。

答 本年度中の、校内無線LANの整備及び、コン

ピュータ端末（タブレット）の1人1台配備を踏まえ、インターネット環境も十分に活用して児童生徒の力を最大限引き出せるよう努める。

また、感染症対策のための臨時休業時等において、コンピュータ端末を一時的に自宅に持ち帰り、学びを継続することも可能なため、そのような状況下でオンライン授業を実施できるように取り組む。

高齢者見守りシールを

野原和夫

町長 積極的に進めていく



問 認知症の人が安心して暮らせるまちづくりを願う高齢者見守りシール交付事業の実施を求める。

答 位置情報から要介護者を発見する既存の仕組みと併せ、積極的に進めていく。

社会保障の拡充を

- (1) 国民健康保険制度
 - 国民健康保険税の所得割・均等割の減免を求める。
- 答 制度として実施した場合、その減免分を他の加入者で負担する必要がある

介護保険料

- (2) ため、現時点では予定はない。
- 問 保険料・利用料の減免を。
- 答 町独自の減免を実施するのは、被保険者全体の負担バランスを考慮すると、

障がい者福祉

- (3) 困難であると考える。
- 問 職員の障がい者雇用の現状は。
- 答 町の法定雇用率は3.89%である。今後も継続して障がい者雇用の促進に努める。
- 問 町内障がい者支援施設等の配布物の仕分け作業を「千樹の里」に外注し、障がい者の自立に向けた所得向上のための支援を行う



いる。